Section

3

価値創造ストーリー

16 価値創造プロセス

18 特集：AI社会にキオクシアグループが創出する社会価値

価値創造プロセス

キオクシアグループは、「『記憶』で世界をおもしろくする」というミッションのもと、製品・サービスを提供し、パートナーの皆さまと共にデータ活用の基盤を築き、社会に貢献します。AI推論の急速な普及とともに、フラッシュメモリやSSDのニーズは今後も力強く拡大することが予想されます。このような市場環境を背景に、競争力の源泉となる経営資本や業界をリードする強みを基盤とした成長戦略を推進し、事業活動を通じた持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

ミッション　**「記憶」で世界をおもしろくする**

市場・社会環境

AIの目覚ましい発展を背景としたフラッシュメモリ・SSD市場の拡大

- AI推論の普及によるニーズの高度化・多様化
- 気候変動などの社会課題の増大

インプット

成長戦略

- 事業ポートフォリオの戦略的シフト：AIインフラ市場に戦略の軸足を移行
- 設備投資とコスト競争力強化：機会を捉えて持続的に成長する
- 研究開発投資と研究開発の加速：技術リーダーシップを堅持する

経営資本

中長期的な成長のための競争力の源泉

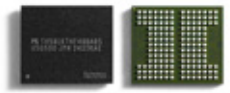
- フラッシュメモリ生産規模
- テクノロジー
- パートナーシップ
- 人材

事業活動

事業活動

メモリ事業

大容量、高性能で環境に配慮したフラッシュメモリ・SSD製品の提供



- AIが牽引する高成長市場での強固なポジショニング
- AI推論時代をリードする技術競争力
- 生産規模・生産効率に基づくコスト競争力と安定的な供給体制

キオクシアグループの強み

ガバナンス

- コーポレートガバナンス
- リスクマネジメント・コンプライアンス
- サステナビリティマネジメント

アウトプット・アウトカム

パートナーと共に創出する社会価値

「記憶」の技術を通じて、製品・サービスの可能性を広げ、
パートナーと共に社会に価値を創出

顧客への提供価値

最先端の「記憶」の技術に基づく製品・サービスの提供で顧客の価値創造に貢献

企業価値向上

財務

- 売上収益：23,376億円
- Non-GAAP営業利益：8,762億円

※ 2025年度、連結ベース

非財務

戦略マテリアリティに基づく活動実績：

- 温室効果ガス削減
- 製品の電力効率改善

など

目指す姿

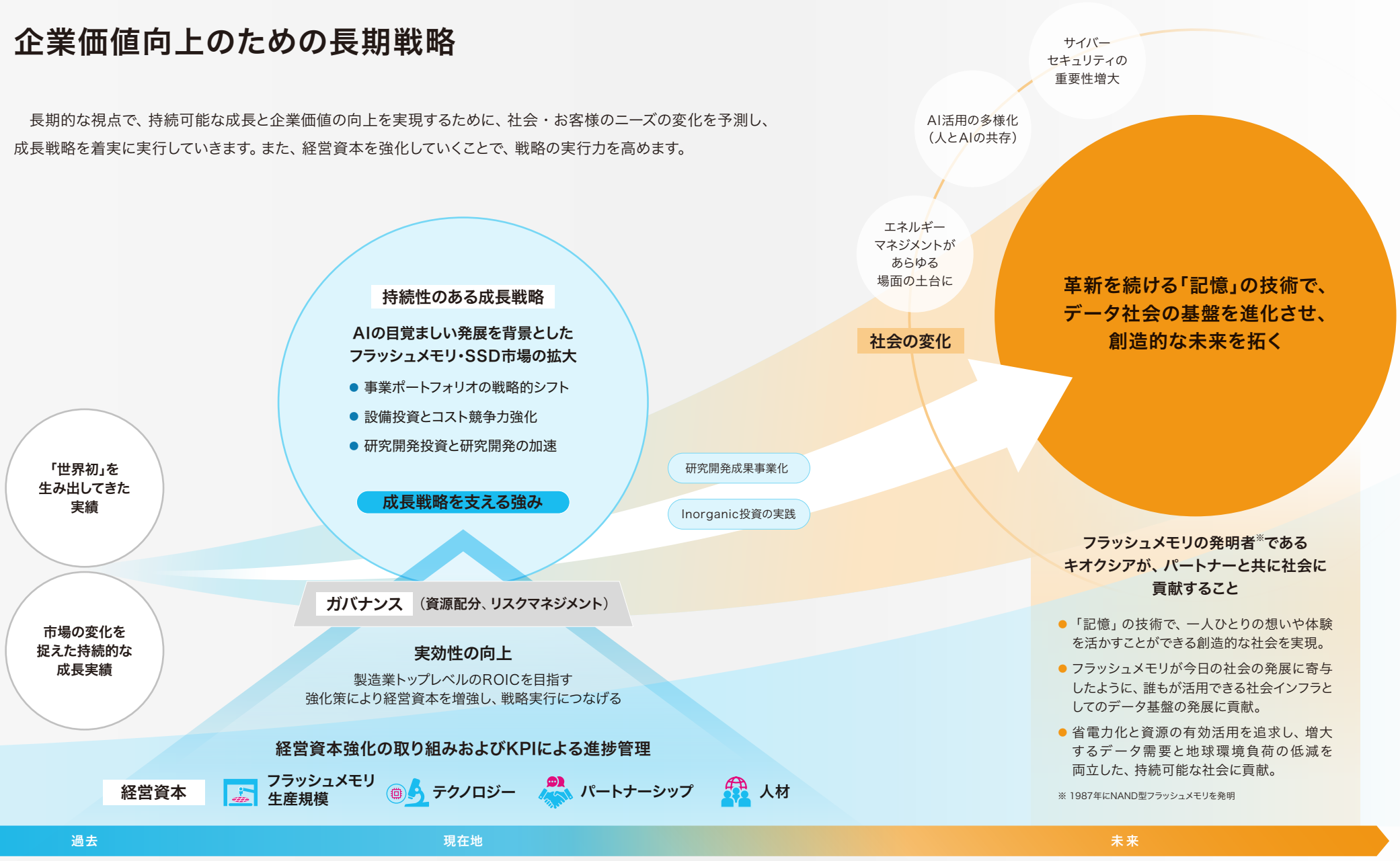
データ活用の基盤を提供し社会に貢献

- 「記憶」を通じた創造的な世界づくり
- 便利で快適な生活づくり
- 安全・安心な社会・環境づくり

持続的な成長

企業価値向上のための長期戦略

長期的な視点で、持続可能な成長と企業価値の向上を実現するために、社会・お客様のニーズの変化を予測し、成長戦略を着実に実行していきます。また、経営資本を強化していくことで、戦略の実行力を高めます。



ミッション　**「記憶」で世界をおもしろくする**

特集 ｜ **AI社会にキオクシアグループが創出する社会価値**

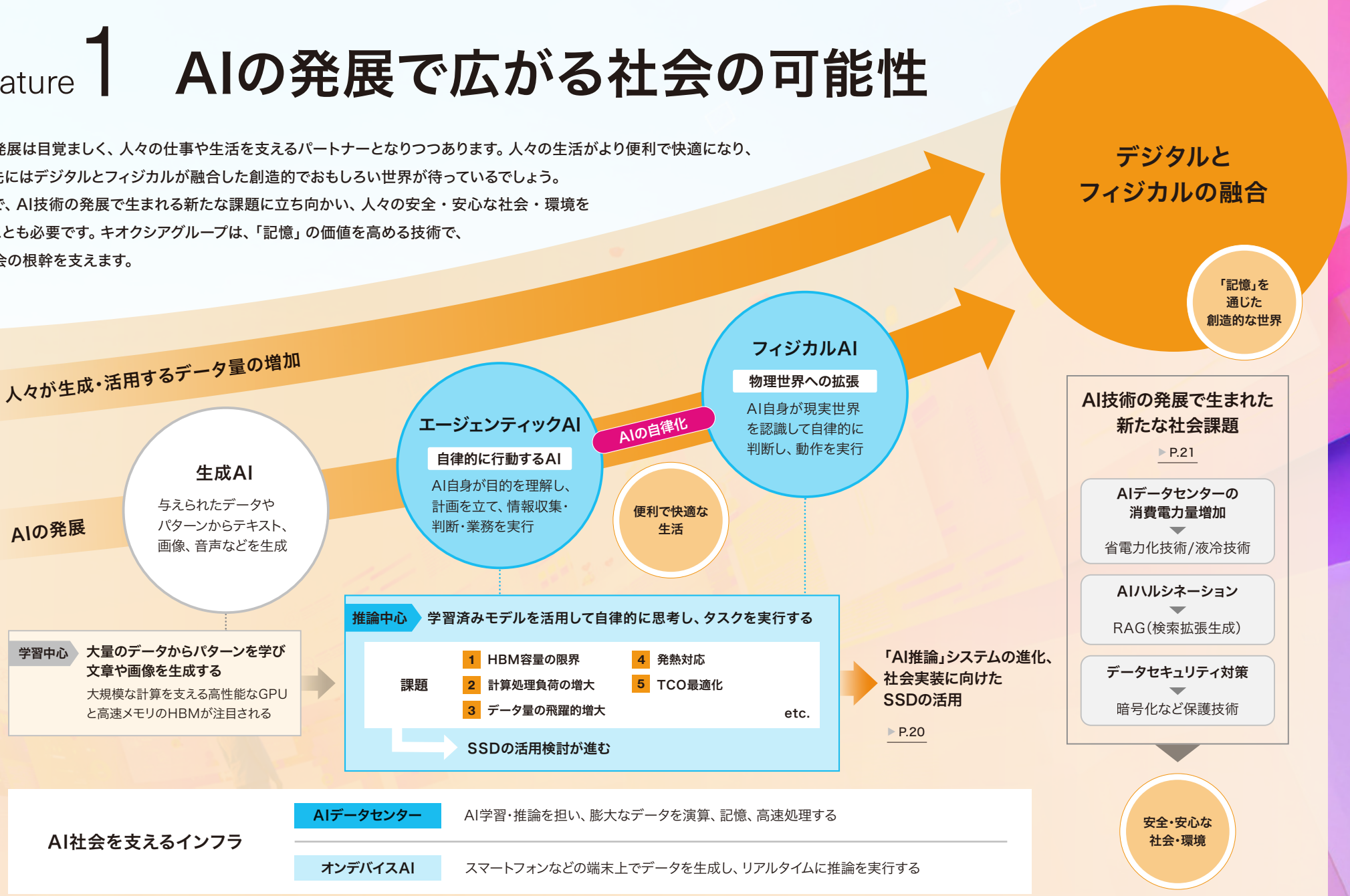
「記憶」で世界をおもしろくする



Feature 1 **AIの発展で広がる社会の可能性**
Feature 2 **AIのインフラ：AIデータセンターを支えるキオクシアグループの技術**
Feature 3 **技術の進化で生まれる新たな社会課題の解決に「記憶」の技術で貢献する**

Feature 1 AIの発展で広がる社会の可能性

AIの発展は目覚ましく、人々の仕事や生活を支えるパートナーとなりつつあります。人々の生活がより便利で快適になり、その先にはデジタルとフィジカルが融合した創造的でおもしろい世界が待っているでしょう。
一方で、AI技術の発展で生まれる新たな課題に立ち向かい、人々の安全・安心な社会・環境を守ることも必要です。キオクシアグループは、「記憶」の価値を高める技術で、AI社会の根幹を支えます。

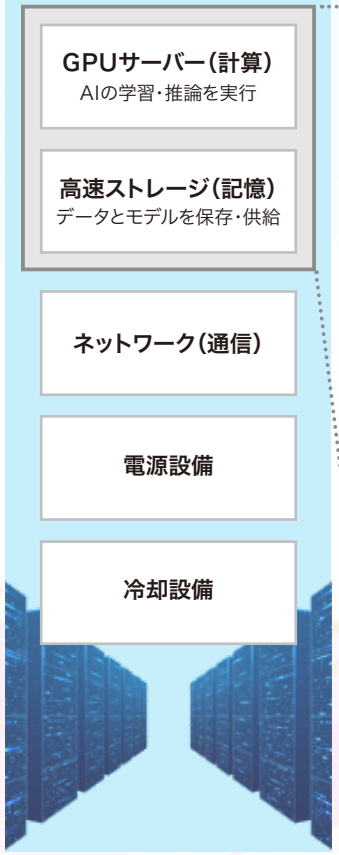


※ AIの発展、活用が進む未来のイメージ

Feature 2 AIのインフラ：AIデータセンターを支えるキオクシアグループの技術

エージェンティックAIやフィジカルAIといった自律的に稼働するAIの登場により、推論ワークロード（処理量）は爆発的に増加します。
キオクシアグループは、フラッシュメモリ・SSDの「記憶」の技術でAIのデータインフラを支えます。

AIデータセンター（概要）



- **GPUサーバー（計算）**
  AIの学習・推論を実行
- **高速ストレージ（記憶）**
  データとモデルを保存・供給
- **ネットワーク（通信）**
- **電源設備**
- **冷却設備**

AI推論システムの進化、社会実装に向けての課題

1. HBM容量の限界
2. 計算処理負荷の増大
3. データ量の飛躍的増大
4. 発熱対応
5. TCO（総保有コスト）最適化

SSD活用の広がりとキオクシアグループの技術がもたらす価値

SSDはデータの保存媒体から、AIの性能向上、効率化を支える中核基盤へと進化。
大容量、高性能、低消費電力を実現するフラッシュメモリを搭載した、さまざまなニーズに応える製品とソリューションでAIの進化を支えます。

1. **高性能SSD**
   HBMの容量ボトルネックの解消



2. **高帯域SSD**
   GPUの過去計算結果の保存、データ転送処理を効率化



3. **大容量SSD**
   推論の複雑化で巨大化するデータを格納

   KIOXIA AiSAQ™
   RAGでSSDを活用し、AIの回答精度を向上



4. 一部製品で、空冷に代わってAIデータセンターへの採用が進む液冷に対応。
   高性能AIサーバー環境における効率的な放熱を実現。

5. 次世代AIインフラの多様な用途に応じたSSD、ソリューションを提供。計算処理負荷低減、省電力化、省スペース化など総合的なTCO最適化に貢献。

AIの進化に貢献
「記憶」の価値を広げる

Feature 3 技術の進化で生まれる新たな社会課題の解決に「記憶」の技術で貢献する

AIの発展は人々の生活を便利にする一方で、技術的な課題や消費電力量の増加といった新たな課題が生まれています。
キオクシアグループは、フラッシュメモリ・SSDの大容量化、高性能化、低消費電力化を付加価値に、持続的なAI社会の成長に貢献します。

社会課題

AIデータセンターの消費電力量増加

AIデータセンターの増加に伴い、電力消費量が増加している。



AIハルシネーション

AIが事実に基づかない、もっともらしい嘘（事実とは異なる内容）の情報を生成する現象。



サイバーセキュリティ

データ活用が高度化する一方で、情報セキュリティが課題となる。



社会課題解決に貢献するキオクシアの技術

製品の電力効率向上の実現

第10世代BiCS FLASH™ TLCフラッシュメモリを搭載したエンタープライズSSD「KIOXIA CM10シリーズ」を開発し、電力効率、冷却（直接液冷方式対応）の柔軟性において大幅な性能向上を実現。

データセンターの省エネルギー化への貢献

広帯域光SSDの開発で、コンピューティング能力の最適化とデータセンター電力効率向上を両立する次世代グリーンデータセンターの実現に挑戦。（▶ P.42）

RAG（検索拡張生成）技術向上への貢献

RAGは企業や組織固有の膨大なデータを専用データベース化し、より正確かつ最新の回答を導き出せる技術です。非公開情報を組織内で運用しやすい点でハルシネーションの抑制に役立ちます。当社グループはSSDとソフトウェア技術の連携で、RAG技術の向上に貢献します。

多様なニーズに対応するSSDセキュリティと暗号化オプション

当社グループは、エンタープライズ、データセンター、クライアントSSDなど、セキュリティプロテクションを必要とするパーソナルデータやビジネスデータを保護するためのニーズに応えています。

※ オプションのセキュリティ機能対応ドライブは輸出規制や法規制などにより販売できない国があります。